



Annual Report  
of  
Tottori Prefectural Public Health Laboratory

No.21  
— 1980 —

Tottori Prefectural Public Health Laboratory

## は　じ　め　に

昭和55年度に鳥取県衛生研究所が実施した事業の概要をとりまとめ、所報第21号としてお届けいたします。

衛生環境行政に携る諸機関の中で、衛生研究所が担うべき役割は、どちらかというと縁の下の方の力持ちの後方機関的なものであるといえましょう。しかし今日この役割は、単に特殊な他機関が扱わない事項を補足するだけでなく、より積極的に、地域の衛生水準と環境の実状を把握し、将来の課題を予見し、有効な施策が効率良く選択され、実行されるように、必要な知見と技術の集積を図るべきものであらうと考えます。このような観点から、衛生研究所の機能の当面する実際的な要点は、従来からの分担事項のカバーと、近時強く要請されるようになった主として調査研究、情報の収集・解析能力の拡充とをダイナミックに調和させ、実現して行くことにあると考えております。

さて、この所報第21号は、本多哲雄前所長のもとで、所員一同各々の分掌に従い、鋭意努力した成果の一つであります。編集方針は、概ね従前の通りといたしましたが、調査研究を助長する意味で、オリジナルの報文も掲載いたしました。勿論掲載の諸事項には、既に事業実施の段階から種々の制約があり、必ずしも意に満たぬ点が存在し、また気付かずにいる不備も多いかと存じます。しかしながら、当衛生研究所が一段と充実し、社会の要請に応える糧として、何卒有識の各位におかれましては、お目通しの上忌憚のないご批判を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、事業の実施にご協力いただきました関係各位に深甚の謝意を表しますとともに、今後一層のご支援、ご指導を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

昭和56年12月28日

所　長　　瀧　田　親　友　朗